

第7回人材育成フォーラム

「男女の違い認識して」「女性リーダー」で増田啓子氏

第7回人材育成フォーラム(人材育成委員会主催)が3月13日、日遊協本部会議室で開かれ、会員企業の人材担当者(中堅層)として、女性10人を含む24人(16社)が参加した。テーマは昨年7月27日、同11月16日、今年2月15日に引き続き「女性が活躍できる組織づくり」。今回は「女性リーダー育成編」として、人材開発に関するコンサルティングや社員教育研修の(株)キャリアアブロッサム代表取締役、増田啓子氏が講演した。増田氏は西武百貨店、ルイ・ヴィトンジャパン等で、採用・トレーニングマネージャーとして人材開発業務に携わってきた。

多角的にディスカッション

増田氏は講演の冒頭、「男性部下と女性部下の違い」「男性上司と女性上司の違い」「男性の仕事、女性の仕事」など5つの命題を5つの班に投じて意見を出させ、その後も随所にグループディスカッションの

場を設けて話を進めた。「マネジメ

ント」「リーダーシップ」の定義の後、「女性リーダー育成のポイント」を様々な角度から分析し、その中で「明確な目標設定と達成のためのサポート」「自律(権限の委譲)」「コーチング」「ストローク(ほめる、認める)」「平等な機会提供(≠選択させる)」と「公正な評価」をポイントに挙げた。講演の後、参加者の中から(株)ユニコー、(有)新日邦の2社の代表が自社の取り組みを紹介した。最後に班ごとにフリーディスカッションを行った。

東日本大震災2周年 黙とうなど哀悼行動

日遊協など会員に文書

日遊協は3月8日、全会員に向けて「東日本大震災2周年を迎えるための対応について」と題する文書を発し、震災発生時の11日午後2時46分にそれぞれの場所です黙とうなど適切と思われる方法で、犠牲者となったすべての方々に対し哀悼



講演の中で取り入れた班ごとのディスカッションに耳を傾ける増田啓子氏(右奥、立っている)

の意を表してほしいと要請した。

これについては2月26日、内閣総理大臣談話として、震災当日の午後2時46分にそれぞれの場所です黙とうを捧げてほしいという要請が国民に向けて出されていた。3月11日に、会員企業の多くで黙とうが行われ、看板・ネオンなどの消灯が行われた。

また、全日遊連も3月7日、各都府県方面遊協(連)に宛てて文書を発し、震災当日のネオン、看板照明等の外壁照明の終日消灯などを、傘下のホールに協力してもらうよう要請した。

日遊協の要請は次の通り。

「来る3月11日(月)に東日本大震災の発生から2周年を迎え、天皇皇后両陛下ご臨席の下追悼式が行われ、震災発生時刻の午後2時46分黙とうを捧げることにしております。その際、内閣総理大臣談話

にある通り、その時刻に合わせ、広く国民一般の方々にも黙とうを捧げられるよう要請されております。会員の皆様には、その趣旨を十分お汲み取りいただき、それぞれの場所において、適切と思われる方法での哀悼の意を表していただきますようお願いいたします」

不正対策室会議

昨年2月比で250件減

不正対策室会議(室長・伊東慎吾 日遊協常務理事)は3月11日、日遊協本部会議室で開かれPSIO(不正対策情報機構)への入力状況の報告を行い、委員13人がゴト・不正情報について検討した。2月のPSIOオープンネット(業界及び一般ファンからの不正情報)は、業界から26件、一般ファンから481件の入力があった。一般ファンの入力は前月1月の522件より41件減り、昨年2月に比べると250件(昨年2月731件)減っている。不正情報では、遠隔操作と主張するケースが相変わらず多いが、データカウンターの不正確さについての情報が増えており、ネットを使った不当な広告宣伝についても散見される。

東京都・関東支部総会

3月18日
ハイアットリージェンシー東京
出席115人(62社)

庄司孝輝支部長を再任 「多様な遊技機の創出を」

冒頭のあいさつで庄司孝輝支部長は、「この業界は危機的な状況にある。何とか活性化のためのプロジェクトを立ち上げ、底打ちをさせたい。この10年間にホールはコスト負担のため高粗利体質が身についてしまい、それがお客様に打撃を与え、お客様離れの1因になった。安価な遊技機、さらに1種から3種にあるような多様な遊技機を出し、お客様中心の遊びに戻さないとこの危機は打開できない」と、業界横断的な施策の実現を訴えた。

知念安光、白石良二、日野文平、尼子勝紀、後藤正人の5副支部長が再任され、加えて岸野誠人、西村拓郎の2氏が副支部長に新任された。警視庁保安課理事官、豊島一雄氏の行政講話があった。新日本有限責任監査法人CSR推進部長、大久保和孝氏が「危機管理と競争戦略としてのコンプライアンスへの向き合い方」企業不祥事はあなたの身の回りで起きている」と題して講演した。茂木欣人(日遊協風営法PTリーダー)、藤田宏(株エントテインメントビジネス総研社長)、横山正樹(DJラオウ)の3氏による「遊技産業活性化プロジェクト」をテーマにしたディスカッションがあった。



総会であいさつする庄司孝輝支部長

その他の来賓は次の通り。

(敬称略)

全日遊連 青松英和(理事長)、伊坂重憲(機械対策委員長)▽日工組 金沢全求(副理事長)▽日電協 原田亨(常務理事)▽同友会 薛博夫(副代表理事)▽都遊協 松田洋(専務理事)、濱田豊和(青年部部長)▽回胴遊商 水谷健一郎(常務理事)、斉藤建夫(関東・甲信越第2支部長)▽自工会 古宮重雄(理事長)▽PSA 恵良道信(専務理事)

登録資格審査委員会

新規3、更新312業者

遊技機販売業者の業務適正化を促進するための登録資格審査委員会(委員長・深谷友尋日遊協会長)は3月15日、日遊協本部会議室で開かれた。新規登録申請3業者を適合とした。更新登録申請317業者のうち312業者を適合とし、5業者については、過去1年間の販売実績が書類上の審査基準に満たないため、今後1年以内(猶予期間)に販売実績を上げることが条件に更新を求めた。

インターネット広告協議会 1月掲載は2989枚 警告後、127件修正入稿

パチンコインターネット広告協議会(日遊協、凸版印刷(株)、IMC(株)で構成)が3月1日、日遊協本部会議室で開かれた。「パチンコのチラシ Powered by Shufool」の

1月の掲載枚数が2989枚だったことが報告された。1月の警告件数は136件で、うち127件は修正して再入稿、9件はキャンセルとなった。警告の内容は射幸心をあおるゾロ目の強調、大量の機種図柄画像、景品イベント告知、NGワード(「覚醒」)の使用等だった。



社団法人日本遊技関連事業協会
平成24年度 東京都・関東支部 総会



講演する大久保和孝氏

懇親会で深谷友尋日遊協会長は「正直な産業にしよう。若い人たちはこの業界を冷やかな目線で見ている。いろいろな問題を露出

インベージョン最新設備機器展2013

「正直に真正面から」深谷会長が講座で強調

第3回「パチンコホールイノベーション」最新設備機器展2013

(主催・総合ユニコム株式会社)

が3月19日、東京国際フォーラムで開かれ、7106人の参加者を集めた。展示には55企業が出展し、各台計数システムをはじめ、環境、省エネ、分煙などアメニティ設備機器から集客・販促システム、コンサルティングまで新しいホール経営を創する機器・システムを展開した。

「セミナー2013」として4つの講座が開かれ、「ワークショップ2013」として8つの報告が行われた。講座のひとつとして、日遊協・深谷友尋会長、諏訪東京理科大学・篠原菊紀教授、リカバリーサポート・ネットワーク・西村直之代表理事による「大衆娯楽パチンコへの再生」の視点に基づいたディスカッションが行われた。

篠原教授は「パチンコを通して地域の人の脳と健康に寄与する『健康情報発信センター・福祉施設』を目指すべきだ」と指摘し、西村代表理事は「依存の問題は過度にホールに課せられているが、地域

への責任として商業化による依存性の上昇を考えなければならない」と提起した。

健康パチンコ、介護問題、依存問題などへの対応が一致した活動になる可能性があり、そのネットワークも重要だとしたうえで、深谷会長は「私達の目前には数々の課題があり、業界は大きな転換期に入った。世間の皆さまが私たちの業をどう見ているかが重要。今日出された問題に対して、正直に真正面から取り組まねばならない」とフォーラムを結んだ。

ファン雑誌連絡会

広告や記事の表現

セキュリティ対策委と協議

パチンコ攻略法詐欺撲滅ファン雑誌連絡会(事務局・日遊協内、構成7出版社)は3月19日、日遊協本部でセキュリティ対策委員会と会合を開いた。ファン雑誌7社から編集・制作・営業・広告担当者ら15人、同委員会から山田久雄委員長ら7人が出席した。今回は、ファン雑誌に載っている広告記事等の中に、攻略法詐欺広告に近いものがあるのではないかと指摘が警察庁からあり、それにつ

いて雑誌側と協議するための開催となった。

とくに「開運プレスレット」の広告は、「パチスロファンに特大朗報! たった10000円で月間50万円勝てる!」とプレスレットの購入を勧めている。掲載したファン雑誌側は「いろいろな雑誌に既に載っている商品の広告なので、それに則って掲載した」と述べた。

委員会側から、「これが単なる金運や開運のプレスレット広告なら問題にならなかったと思うが、今回の広告の場合はパチスロに特定した上、あたかも攻略法販売広告のような見出しやデザインになっていく」との意見が出された。山田委員長は「ファン雑誌を読む人はパチンコ、パチスロが好きで人々のだから、このファンを1人でも増やしたいのはわれわれも雑誌の皆様方も同じだと思う。そういった観点から今後も尽力してほしい」と注意を要請した。

出席したファン雑誌の出版社はつぎの通り。

(株)笠倉出版社▽(株)竹書房▽辰巳出版(株)▽(株)エコー出版▽(株)双葉社▽(株)プラントピア▽(株)ガイドワークス。

図表を使って講座。(円内は左から深谷会長、篠原教授、西村代表理事)



参加者でにぎわう会場

セキユリティー対策委員会

試案協議も大詰めに「発火等対応」

第69回セキユリティー対策委員会（委員長・山田久雄日遊協副会長）が3月26日、日遊協本部会議室で開かれ、「いわゆるゴト行為等への迅速な対応を講じるためのガイドライン」の中に、特例的な形で発火等の問題についての対応策を追加補正する試案を協議した。昨年から各団体の意見を聞き、大詰めに近い試案となった。

試案のおもな内容は、「遊技客の安全に大きな影響が及ぶと考えられ、且つその原因が遊技機の不具合による可能性がある事象」が発生したら、①当該ホールはホール団体及び所在地を管轄する公安委員会に、当該遊技機のメーカーはメーカー団体及び型式検定を行った公安委員会に報告する ②団体間で連絡を取り、当該遊技機及び同一機種等に対し稼働停止を含む対策を緊急協議し、協議の結果を販社等関係団体に連絡するとともに、当該メーカーが型式検定を行った公安委員会に報告する――

となつている。また、当該メーカーが自主的に稼働停止を要請した場合は原則としてそれを尊重するとしている。

また、措置の方法は基本的にゴト行為の対策と同じ考え方で、対策が遊技機の性能に影響を及ぼすおそれがないことが確認された場合はその対策部品で対応させ、性能に影響を及ぼすおそれがある変更については保通協の型式試験が必要で、優先的な試験要請ができる、としている。次回の委員会（4月22日）でまとめ、5月の協定締結に向けて関係団体に通知していきたいとしている。

リサイクル推進委員会

各団体から改正案

業者選定要綱・基準

遊技機リサイクル推進委員会（座長・篠原弘志日遊協専務理事）は3月4日、日工組会議室で開かれた。遊技機リサイクル業者選定要綱、遊技機リサイクル業者の選定

基準についての改正案が、加盟各団体から提出された。これら改正案を基に事務局が統一した改正案としてまとめ、次回の委員会（5月27日）に提案することになった。

ホール関係5団体代表者会議

「ECO遊技機対応」で協議

ホール関係5団体代表者会議が3月21日、東京飯田橋のホテルメトロポリタンエドモントで開かれ、青松英和全日遊連理事長、深谷友尋日遊協会長、松田高志同友会代表理事、中村泰明余暇進常務理事、中島基之PCSA専務理事ら5団体代表19人が出席した。

日工組が準備を進めている「ECO遊技機」に対するホール関係5団体の対応について協議した。日工組の現在までの説明では、不明、不確定な要素や把握できない側面があるが、ホール関係5団体としては情報共有を絶対前提としてそれぞれの団体で対応し、最終的には5団体一致のうえ業界全体の合意に至るようにすることを確認した。

ホール5団体風営法WG

「新規開店」関連で討議

ホール5団体風営法検討会WG

（ワーキンググループ）会合は3月11日、日遊協本部会議室開かれ、全日遊連、日遊協、同友会、余暇進、PCSAの5団体幹部14人が出席した。各団体が分担して取り組んでいるテーマについて意見を出し合った。この日は営業許可申請に関するテーマで、新規開店時のスケジュールの中で店舗と行政双方の負担を軽減する方策、保護対象施設が関係する問題等を協議した。

ゴト対策4団体会議

「電磁波」などを検討

ゴト対策に関する4団体会議が3月19日、東京市ヶ谷の遊技会館で開かれ、日遊協、全日遊連、日工組、日電協の委員、オブザーバーなど38人が出席した。全日遊連事務局からパチンコ・パチスロのゴト事例が映像も含めて報告され、日工組、日電協から対策状況が説明された。珍しいゴトケースについては全日遊連からメーカーの早い対応が要望され、メーカー側が了承した。ゴト対策を徹底させるために、全商協、回胴遊商からオブザーバー参加の希望が出されていることが報告され、次回までに検討することになった。

「ECO遊技機」日遊協で説明会

日工組「革新」を強調 不正対策や玉循環など

日工組は3月14日、日遊協本部会議室で開発中の「ECOシステム」について説明会を開いた。日工組側は渡辺圭市理事(技術担当)、日遊協側は深谷会長と副会長、支部長らの役員が出席した。「ECOシステム」については、日工組は昨年5月にホール関係5団体への説明会で、①システムはECO遊技機、専用のECOユニット、管理コンピュータ、カード会社情報

管理センター、鍵管理センター、遊技機管理センターで構成される②発射に必要な最小数の玉は遊技機内で循環し、遊技者は直接玉に触れない——などの特色を説明している。今回の説明ではさらに細部が明らかになった。

日工組のおもな説明内容は次の通り。

市場投入できるものを形にしたい。市場投入には検定規則の改正が必要で、それを待つてから着手すると1年半以上延びるので、並行作業の形で考えている。

〈今後の見通し〉2014年中に市場投入できるものを形にしたい。

ど、現行のCRユニットに比べて追加される基板類が増えた。

接続することにより、基板の不正な取り替えを監視する。

〈不正対策〉現行ではユニットとインターフェースがゴトに弱いので、新しいインターフェース(通信日時によって符号が変化する可変式符号化通信)を採用する。玉はステンレス系で磁力に反応しない。発射された玉とアウト口を通過した玉の差異を監視する。メイン基板のCPUと払出基盤のCPUとカードユニットのセキュリティ基板とで整合性を監視する。機歴管理センターと広域ネットワークで

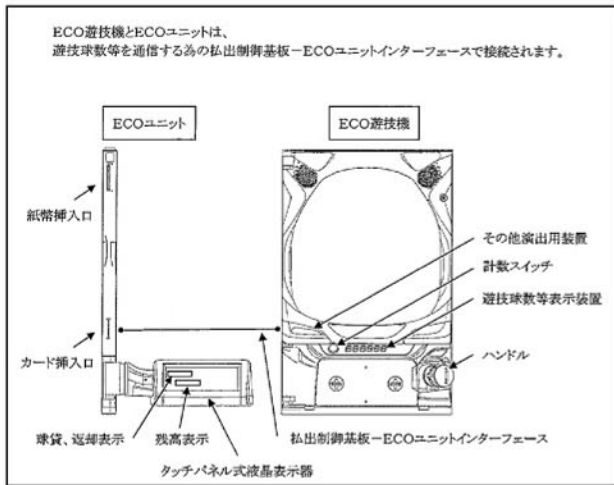
〈ECO対策〉玉磨き装置は業界統一のリサイクル部品を搭載。枠も基本的に業界統一枠を採用する。玉循環システムの不要により低電力化を図る。

〈消費税対応〉玉の貸出額はホールが任意に設定できる。内税・外税の対応、税率の変化への対応が可能となる。

〈その他〉玉は左上から発射される。盤面サイズが業界最大寸法になる。



ECO遊技機システムを説明する渡辺日工組理事(右から2人目)



ECO遊技機とECOユニットの接続イメージ

〈ECUユニット〉本体枠にあったタッチパネル式液晶表示器をECOユニット側に移し、残高表示、玉貸、返却表示を行うな

北海道支部役員等拡大会議

第1回、全会員が参加 ミニ講演や交流

北海道支部は2月25日、(株)ビックトリア観光会議室で支部の全会員が参加した第1回支部役員等拡大会議を開いた。拡大会議の目的は、会員に支部活動のあり方を意識してもらおうとともに会員同士の交流を密にすること。松谷明良支部長は「支部役員と会員の皆様にそれぞれ知恵を出してもらい、立派な活動を進めて行きたい。業界が大変なこの時期にこそ、地方の日遊

協が範を示していくべきだと考える」と挨拶した。

今年度活動報告と新年度活動方針(「健全営業推進セミナー」「ごみ拾い活動推進」「チャリティゴルフコンペ」等)を決定後、回胴遊商理事長、伊豆正則氏、ジャパンセキユリテイサービス代表取締役、高石隆二氏、(株)ミチウエ・リサイクル環境本部長、木村豪氏がそれぞれミニ講演を行った。

今年度活動報告と新年度活動方針(「健全営業推進セミナー」「ごみ拾い活動推進」「チャリティゴルフコンペ」等)を決定後、回胴遊商理事長、伊豆正則氏、ジャパンセキユリテイサービス代表取締役、高石隆二氏、(株)ミチウエ・リサイクル環境本部長、木村豪氏がそれぞれミニ講演を行った。

九州支部役員会 総会開催等の確認

九州支部役員会が3月15日、福岡県遊技会館で開かれ、樋口益次郎委員長以下15人が出席し懸案の事項を協議した。平成25年支部総会、仙台共生の森活動、「クリンデイ清掃活動」などの運用について確認し、具体的に検討した。

新規入会・会員消息

3月14日の第6回定例理事会で、正会員2社、賛助会員1社の入会が承認された。

●新規入会（正会員）

▼株式会社ナイスジャパン
代表取締役・久保田康

盛岡市中ノ橋通1・8・17

メイポールビル1F

▼株式会社ABC
代表取締役社長・富田直樹
静岡市駿河区八幡5・26・21
ホール。昭和40年設立。資本金2億円。静岡、山梨、長野3県に40店舗。役員11人、従業員670人、アルバイト597人。（推薦人・専務理事 篠原弘志）

▼株式会社光運送
代表取締役・祇園浩一

●新規入会（賛助会員）

▼株式会社光運送
代表取締役・祇園浩一

岡山市中区江崎277・1
一般貨物運送業。昭和61年設立。資本金1000万円。役員5人、従業員14人、アルバイト2人。（推薦人・山佐株式会社 佐野慎一）

●住所変更

▼株式会社スプリングス

千葉市中央区中央1・7・8

シグマビル6F

2月28日

▼株式会社アドサークル

東京都渋谷区桜丘町24番4号

東武富士ビル4F

TEL03・64555・0415

FAX03・64555・0416

3月18日

●営業所移転

▼サミー株式会社郡山営業所

福島県郡山市並木1丁目12番地6

3月11日

●社名、代表者変更

▼株式会社タイラ ベストビート
（旧社名・平興産）

代表取締役・平本雄嗣

3月13日

●代表者変更

▼有限会社サンライズ

カリブオーシャン

代表取締役・川原順一

2月22日

▼フシミコーポレーション株式会社

代表取締役・深谷友尋

3月1日

警察人事

▼フロンティアテクノ株式会社
代表取締役・深谷友尋
3月1日

警視庁人事（2月18日）麻布署長（保安課長）吉森裕次▽保安課長（少年事件課長）村元弘
千葉県警人事（2月26日）風俗保安課長（松戸副署長）林三喜男▽我孫子署長（風保課長）小泉勝基

愛知県警人事（2月28日）生活安全部参事官兼保安課長（刈谷署長）渡邊喜代一▽東署長（保安課長）伊藤清美
鳥取県警人事（3月8日）退職（生安部長）前田浩二▽生活安全部長（総括参事官・警務課長）林耕嗣▽生活安全部参事官・生活環境課長（通指課長）竹森厚志▽刑事部参事官兼生活安全部参事官兼警備部参事官・組織犯罪対策課長（参事官・生環課長）長谷川勝

DATASPO T

前年比増、前月比増もパチスロに繋り

全日遊連は3月13日、店舗数、遊技機台数の2013年2月分を発表した。店舗数は前月比で大幅に34店も減り、1万1137の店舗数は、昨年2月（1万1303店）と比べて、この1年間で166店の減少となった。遊技機では、パチンコが1年間でマイナス5万8581台（昨年2月285万6929台）と下がり続け、一方パチスロ機はプラス7万6929台（昨年2月136万4366台）と上昇しているが、伸びは鈍化している。パチスロは、今月も一昨年4月から23か月連続で前月比増を続けているが、その数がわずかに219台と驕りを見せてきた。<注>店舗数、及び遊技機台数は各月の末日現在の数。表中の「その他」はアレンジボール、じゃん球、スマートボールを意味する。

貯玉補償基金加盟状況

	店舗数	前月比
北海道	236	0
東北	527	+1
東京	543	-1
関東	1552	-4
中部	468	+3
近畿	850	+3
中国	284	+1
四国	144	+1
九州	602	+3
全国計	5206	+7

（2013年2月28日現在）

全日遊連加盟店舗数・遊技機台数

平成25年	営業店舗数	新規店舗数	廃業店舗数	休業店舗数 （当月発生分）	遊技機台数			総台数
					ぱちんこ遊技機	回胴式遊技機	※その他	
1月	11,171	17	34	118 (11)	2,805,774	1,441,076	156	4,247,006
2月	11,137	7	37	119 (11)	2,798,348	1,441,295	156	4,239,799